第３回木曽山崎団地地区まちづくりワークショップについて

1.　第３回まちづくりワークショップの目的

第１回ワークショップでの「まちの施設や機能のアイデア」、第２回ワークショップでの「まちのレイアウトを考えてみよう」を受け、今回のワークショップでは「新しいまちの活用アイデア」をイメージして、2040 年におけるまちのアクティビティや営みについて考えます。モノレールが延伸され、新たなまちが生まれた後の将来の木曽山崎団地地区を思い描きながら、人々のアクティビティや営みについて具体的に考えます。また、アクティビティや営みを実現するために自分たちが出来ることを考えます。ワークショップの結果を踏まえ、まちづくり構想(改定版)におけるまちづくりのイメージや整備方針へと繋げていきます。

- **新たなまちの活用**
- **新たなまちの活用に向け自分たちができること**

ワークショップで出た意見を反映

団地地区の整備方針

2.　検討の進捗イメージ

計３回のワークショップでの意見を踏まえ、まちづくり構想(改定)へと繋げていきます。

第１回 2024 年 8月 18 日	**<テーマ>** **まちの施設や機能のアイデア** ◆いまの木曽山崎団地地区を語ろう！ ◆将来の木曽山崎団地地区をイメージしてみよう
第２回 2024 年 12 月１日	**<テーマ>** **まちのレイアウトを考えてみよう** ◆将来の木曽山崎団地地区のまちを作ってみよう
第３回 2025 年 7月６日	**<テーマ>** **新しいまちの活用アイデア** ◆新しいまちの活用のアイデアを考えよう

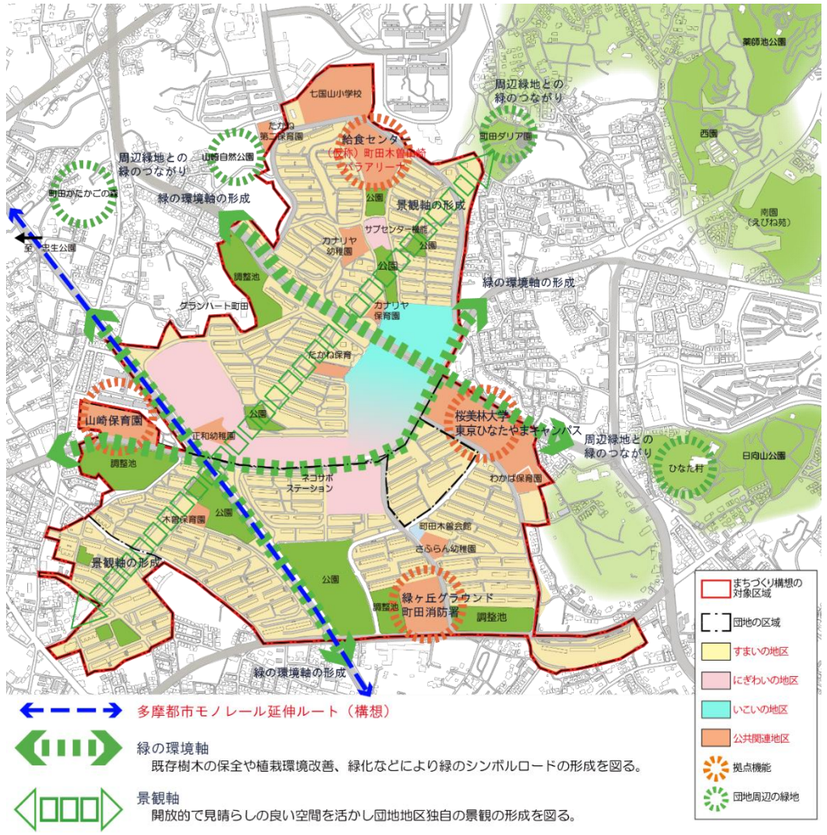
まちづくり構想改定へ

3.　実施概要

① 日時：７月６日（日）　13：30～15：30
② 開催場所：桜美林大学町田ひなたやまキャンパス　桜美林芸術文化ホールひなたやま交流プラザ
③ 応募案内：６月６日に全戸配布予定　応募受付期間：６月９日（月）～７月２日（水）

4.　第３回まちづくりワークショップの目的

昨年度、2040 年の整備イメージをまとめました。今回のディスカッションの参考とするために、第２回ワークショップで出された各エリアの機能やイメージを併せて提示します。整備イメージで設定した３つのエリア（すまいの地区、にぎわいの地区、いこいの地区）でやってみたいことについてディスカッションを行います。また、やってみたいことに対して実現するために自分たちが出来ることについてもディスカッションを行います。



にぎわいの地区
地域の生活利便性を向上させ、地区内外の人々でにぎわう交流・活動拠点
想定される機能の例

自然のある駅前広場

複合商業施設

すまいの地区
多様なライフスタイルに対応した
みどり豊かな魅力あふれる住宅エリア
想定される機能の例

コミュニティスペース

リニューアルされた団地
（宿泊体験が出来るなど）

いこいの地区
多様な活動・体験が出来る
みどり豊かなエリア

スポーツができる場
（スケートボードパーク等）

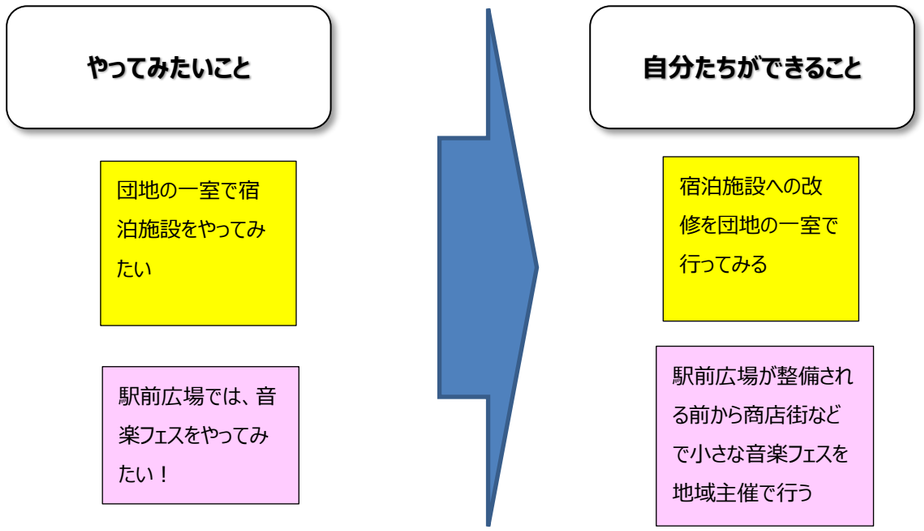
みんなが集まれる広場

（1）グループワーク１　まちづくりワークショップの進め方

2040 年の木曽山崎団地地区の、それぞれのエリアでやってみたいことを意見交換します。
場所性の関連する意見については、エリア整備イメージの範囲が描かれた大判地図で整理します。

（2）グループワーク２ 「やってみたいを実現するために何ができるかを考えよう」

グループワーク１を踏まえつつ、2040 年の木曽山崎団地地区でやってみたいことを実現するために自分たちができることについて意見交換をします。グループワーク１と連動しながら、意見交換を実施します。



5.　まとめのイメージ

ワークショップで出された意見は、、以下のようにまとめることを考えています。

	やってみたいこと（グループワーク１）	自分たちができること
すまいの地区（団地など）	団地の一室で宿泊施設をやってみたい	宿泊施設への改修を団地の一室で行ってみる

	やってみたいこと（グループワーク１）	自分たちができること
にぎわいの地区（駅前・商業・センター）	駅前広場では、音楽フェスをやってみたい！	駅前広場が整備される前から商店街などで小さな音楽フェスを地域主催で行う

	やってみたいこと（グループワーク１）	自分たちができること
いこいの地区・公園	公園や広場で自然と楽しめるキャンプがしたい！	キャンプが楽しめるルール作り